

ぼらつと

『ぼらつと』とは「ぶらりと」気軽に

「ボランティア」しましょう!!という造語です。



発行元

〒020-0541 粟石町千刈田82-2

粟石町総合福祉センター内

粟石町社会福祉協議会ボランティア活動センター

電話/692-2230 FAX/691-1140

e-mail/shizukuishi-VC@shisha.or.jp

平成24年度 ボランティア活動保険 受付開始!(2/1~)

昨年は災害ボランティア活動に参加された方も多くボランティア活動保険への注目度も上がっています。平成24年度の加入受付がスタートしました。ご存じの方も多いとは思いますが、改めてボランティア活動保険についてご紹介いたします。

ご加入いただける方

- ◆町社会福祉協議会構成員・会員
- ◆町ボランティア活動センターに登録している個人ボランティア・ボランティア団体など

対象となるボランティア

- 「自発的に社会貢献する無償のボランティア活動」で次の何れかに該当する活動。
 - ◆グループの会則に則り企画、立案された活動
 - ◆社会福祉協議会に届け出た活動
 - ◆社会福祉協議会に委嘱された活動
- *活動のための学習会または会議や、活動場所まで移動などについても対象

補償期間・内容

- ◆平成24年4月1日から平成25年3月31日まで
- ◆ボランティア活動中の事故やケガをされた場合、また他人にケガをさせたり、他人の物を壊したことに伴って損害賠償責任を負わされた場合に保険金が支払われます。
- *ボランティア自身の食中毒(0-157など)や特定感染症も補償
- *熱中症(日射病・熱射病)も対象
- *台風などの風水害によるケガは基本タイプで補償
- *天災タイプでは、基本タイプにおける補償に加え、天災(地震・噴火・津波)によるケガも補償

◎災害ボランティア活動中のケガの多くは、ガレキに潜む釘を踏んでしまつた、ガレキ・ガラスでの切り傷や刺し傷によるものでした。しかし活動中に余震による津波注意報が発令されることもありました。...

台風などの風水害に加え、地震・噴火・津波の天災によるケガも補償される。天災タイプがお勧めです。



天災タイプ	基本タイプ
天災A 490円	A 280円
天災B 720円	B 420円

保険料

※但し、天災タイプでは、天災(地震・噴火・津波)に起因する被保険者自身のケガを補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

保険金の種類		Aプラン	Bプラン
ケガの補償	死亡保険金	1,400万円	2,000万円
	後遺障害保険金	1,400万円 (限度額)	2,000万円 (限度額)
	入院保険金日額	7,000円	11,000円
	手術保険金	手術の種類に応じて入院保険金日額の10倍、20倍、40倍	
賠償責任の補償	通院保険金日額	4,100円	6,370円
	賠償責任保険金	5億円 (限度額)	5億円 (限度額)

補償金額

◎保険料・補償額等はH23年度と変わりません!

加入申込方法

- ◆町社協ボランティア活動センターに加入申込用紙がございました。申込用紙に氏名・保険のタイプを明記し、ご捺印のうえ保険料を添えて、当センターにご提出下さい。団体で加入者が多い場合は、既に作成した名簿(加入者氏名と保険のタイプを明記したリスト)

その他

- ◆補償期間の途中で加入される場合も保険料は変わりません。なお、中途脱退による保険料の払い戻しはありません。
- ◆ご加入は、お一人につき1口となります。複数の団体に登録されている方は、重複してはいかご確認して下さい。

ボランティア活動をされる際には体調パッチリで、無理せず行おう!





ボランティア活動センターからのお知らせ

映画「エクレール」お菓子放浪記の上映会が開催されます。この上映会入場券の一部が、被災した子供たちへの上協会費用として、また岩手県更生保護協会へ寄付されます。

被災前の宮城県石巻市を中心に撮影され、「孤独でお腹を空かせた戦災孤児の少年が様々な人の温かい触れ合いの中で生きる希望を見つけていく...」ストーリーです。また、支えあつた人の心の優しさを感じて映画です。

町ボランティア活動センターでもチケットの前売り販売を行っております。鑑賞ご希望の方はお問合せ下さい。

上映日・上映時間
平成24年3月20日(火・春分の日)
①午前10時30分(開場10時)
②午後14時(開場13時30分)

鑑賞料金
【前売り券】
一般 1,000円
小中高生 800円

【当日券】
一般 1,500円
小中高生 1,000円



お問合せ・前売り券販売
町ボランティア活動センター
電話 692-2230 (村上)

よろこそ!

しずくいしへ!!



1月21日(土)平石町に避難・移転した被災者の方々の交流会が町福祉センターで行われ、11世帯22名が参加しました。そして、この日のために平石町調理師会の小田幸作さんとふれあいサロンたんたん代表の向井優美子さんが平石の美味しい料理を振舞いに駆けつけて下さいました♪

平石牛のハンバーグ・ひつまみ汁など、まちの美味しい食材をたくさん使い、参加して下さった子供たち、奥さま方と一緒に調理しました。

向井さんは自家製のお漬物をたくさん持って来て下さいました!!

たくあん・人参・カブの漬物と...どれも美味しい!!(^_^)v

今日お手伝いしてくれた子供たちへ、ご褒美として小田さんから包丁セットがプレゼントされました。(家でもお手伝いしてね~!)



メインのハンバーグは子供たちが上手に小判型に丸めました!



皆さんの「美味しい」との感想に小田さんは、「食で心が癒されればと思い作りました。皆さんに喜んでもらえて嬉しい」とにこやかに答えて下さいました。

美味しい料理と嬉しいプレゼント!

参加された皆さんで、平石の「山」と沿岸の「波」がひとつに...との思いで「やまなみ会」と名付け今後も交流を続けていきたいと思っています。

2/7(火)には、ふれあいサロンこの指とまれに、やまなみ会から3名参加して手作りの恵方巻きを皆さんと頂いてきました☆☆



今回は、「茶話サロン」代表の柳屋小夜子さんです。

質問(以下◎) ボランティアを始めたい方、かけはなんですか?

◎ 柳屋(以下◎) 初めにサロン(この指とまれ)を見て皆さんがとても楽しそう、この集まりを下町の一人暮らしや留守番をしている高齢者の方々と一緒にやりたい、と皆さんに声をかけて、平成16年4月に立ち上げました。
◎ 今までの活動で印象に残っていることは何ですか?
◎ 積極的なスタッフが、根気強く

折紙人形を五十個作ってくれたり、サロンの皆さんも折り鶴二百個作ってIBCラジオで募金してくれたり子供達にプレゼントしました。子供達の笑顔にまた、何かプレゼントしたいです。

◎ これからはどんな活動をしていきたいですか?

◎ 高齢の方が多くいますので、無理な活動はせず、指先の運動として色々な作品を作って、一人暮らしの友人などにプレゼントして頂きました。これからも皆さんと話し合って、帽子・ひざ掛け・パツ



チワークの花瓶敷き作りなどに挑戦したいと思っています。
◎ 茶話サロンってどんなところですか?
◎ 「ほのぼのとした場」です。無理をしない、頑張りなさをモットーにこれからも楽しく語り合っていきたいです。それと、本当に皆さんおしゃべりが大好き!お茶っこ飲みながら、話しは尽きません。だから「茶話」という名前はぴったります。笑。
◎ 確かに!みなさん元気ですね。どうもありがとうございます。
*茶話サロンは毎月第一金曜日(以下町4公民館)で活動をしています。